



学校だより ~三力一心~

平岩小中学校
校長室通信 No.19
平成28年10月18日

ご意見をお聞かせください

この通信は、不定期ですが、
月2回ほど発行します。

先日の渚フェスティバルには、多数の保護者、地域の方々にご来校いただきました。心からお礼申し上げます。

今年から、児童生徒の発表は午前中に集中し、午後は鑑賞教室として実施することとしました。日程の変更、会場の移動等、例年と異なるところが多かった上に、運動会後のスケジュールは厳しいものでしたが、子どもたちの頑張りは目を見張るものがありました。

ご参観いただいた皆様には、忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。学級担任を通して、または直接電話で校長や教頭に伝えさせていただいてもかまいません。よろしくお願ひします。

学校としての反省はこれからですが、校長の私見として総じると、「らしさ」と「努力」を感じる発表ばかりであったと思います。

前期ブロックは元気のよい発表が「売り」ですが、その中で、学習したことをしっかりと伝えたり、難しい演奏に挑戦したりと、学年の特色がよく出ていたと思います。

中期ブロックのうち5、6年生は、さすがに小学部のリーダーです。はまぐりを通して地域のすばらしさを伝えたり、長なわやソーラン節を通して団結と限界に挑戦する姿勢を示してくれたりしました。

なお、学級担任から一言入れてほしいとの要望がありました。『「はまぐり」の発表では、パソコンの調子が悪く、予定していた画像を映し出すことができませんでした。一部わかりにくかったかと思います。申し訳ありませんでした。』とのことです。

中学部は、劇と展示作品、そして合唱での発表でしたが、中でも合唱は各学年の成長とそれぞれの思いが伝わるすばらしいものでした。歌う姿勢、声量は申し分なかったと思います。ハーモニーは・・・。これから上達します！

午後の村上三絃道の演奏は、さすがにプロだなと思わせるものでした。

子どもたちを引きつけ、盛り上げ、三味線の魅力を十分に伝える・・・。
外国での公演もこなすと言わっていましたが、納得できます。

受付等、朝からご協力いただいたPTA役員の皆様もありがとうございました。また、見事な作品を提供していただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。「このバッグ欲しい！」というような声を聴いたのは初めてです(^-^)
来年は、さらにレベルアップした発表、作品づくりができるよう指導してまいります。



半分が過ぎて・・・

10月は、テレビの特番が組まれたり、プロスポーツもいよいよ大詰めを迎えると、楽しみなことが多くなります。4月を年度初めとする日本では、半年経ったこの頃を一つの節目とする慣習があるんですね。

学校では、生徒会役員が替わる時期です。9年生が進路実現に向けて勉学に専念するため、8年生をリーダーとする新しい体制になります。

先日の選挙で、次の人たちが生徒会執行部として選出されました。これから平岩小中学校を牽引する人たちです。皆様ご承知おきください。

生徒会長	8年	児玉龍斗
副会長	8年	児玉小夏
副会長	7年	児玉修也
会計	7年	林 幸

努力できることが才能である

松井秀喜氏（元メジャーリーガー）のお父さん、いいこと言いますね。

松井氏も相当努力を重ねる人だったようですが、それをしっかりと見守ったお父さんも偉いなあと思います。

上記のとおり、本校の子どもたちも目標に向かって努力することができます。ただし、今は先生方の指導を受けながらですが・・・。

やがて、自分一人でも努力できる優秀な人材に育ってほしいと切に願っています。努力する才能を持ち合わせている子どもたちですから(^_-^)

